

しごと

第7次総合計画

政策・施策シート

【しごと】



【しごと】観光商工政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値	目指す方向	
人や財が流入・交流する活力ある産業のまち	市内総生産 (第2次・第3次産業)		将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を目的としています。
	737,540百万円 (H28)	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 (%)	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【 施策 1 】 観光の振興	観光消費額【百万円】					<ul style="list-style-type: none"> ●観光客誘致促進事業 ●観光地域づくり推進事業 ●観光標識等整備事業 ●公共宿泊施設管理事業 ●動植物園管理運営事業 	【重点化】 ●観光客誘致促進事業 ・ビッグデータの活用によるデータ分析など、様々なマーケティングの手法を駆使し、適切に顧客に響くコンテンツづくりとプロモーションに取り組みます。 ・webやSNSなどのデジタル媒体を有効に活用した効果的な情報発信やMaaSアプリを活用した周遊促進等により、域外からの来客増としない消費につながる取り組みを実施します。 ●観光地域づくり推進事業 ・令和7年度のさせぼ立神近代化歴史公園の供用開始に向けて、継続的に日本遺産「鎮守府」の情報発信に努めるとともに、構成文化財等の観光活用による周遊滞在型観光の推進に取り組みます。 ・世界文化遺産「黒島の集落」については、観光受入拠点「黒島ウェルカムハウス」を核とした黒島観光客受入態勢の確立を図り、持続可能な観光地づくりを推進します。 ・（公財）佐世保観光コンベンション協会については、佐世保市の観光を牽引するDMOとして、域内の事業者や地域住民との連携をより一層深め、地域一体となった観光振興により地域経済の活性化を図ります。 ●九十九島パールシーリゾート管理運営整備事業 九十九島の観光拠点である九十九島パールシーリゾートの中核施設・水族館「海さらら」については、長寿命化計画に基づく施設の効率的かつ効果的な維持管理を行うとともに、環境省、長崎県及び関係自治体と連携して、九十九島エリアの魅力創出に努めます。
	111,502	61,046	54.7%	111,502	114,426		
	KPI達成状況の分析						
	●新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、宿泊キャンペーンの実施等で需要喚起策を図ったものの、宿泊施設をはじめ観光産業は大きな影響を受けました。入国制限については10月に概ね解除されたものの、外国人旅行客の回復にはまだ時間がかかる状況が続いています。また、国際クルーズ船の入港も令和5年3月に再開されたものの、中国発着のクルーズの継続した入港見通しが立たなかったことから、一般的に国内外の観光需要の回復には至らず、KPIは達成できませんでした。						

【しごと】観光商工政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値	目指す方向	
人や財が流入・交流する活力ある産業のまち	市内総生産 (第2次・第3次産業)		将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を目的としています。
	737,540百万円 (H28)	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 (%)	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【施策2】 地場企業の振興	利益を上げた企業の割合【%】					<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業経営支援事業 ●中小企業経営基盤強化事業 ●特産品の販路拡大事業 ●伝統産業振興事業 	【重点化】 ●中小企業経営支援事業 中小企業デジタル化支援事業については、ITツールの活用による社内業務の効率化など生産性向上につながるデジタル化の取組みを推進するとともに、事業環境変化対応事業では、ポストコロナ社会を見据えたデジタル技術の活用による売上向上を図る取組みや、事業再構築の取組みを推進します。 ●産業コネクティート事業 ①中小企業DX化、スタートアップ・ベンチャー支援 新分野進出が期待される事業者の掘り起こしと地方発DX企業の創出、事業意欲の高い事業者間のコミュニティ造成、県の創業支援事業との連動等を推進します。 ②支援センターのリブランディング 新たな利用者層の掘り起こしのため、センターイメージの刷新に向け、都市圏で開催されるセミナーのサテライト開催や情報発信等ソフト施策に取組むとともに、コミュニティ活動の活性化に寄与するための環境整備にも取組みます。 ●伝統産業振興事業・特産品の販路拡大事業 従来からの特産品に加えて、ふるさと納税における返礼品と連携した新たなさせぼ産品（伝統工芸品を含む）の創出や情報発信によるブランド力の向上に向けた取組みを推進します。
	KPI達成状況の分析						
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、すべての指標において対前年、対前々年同期を上回っているものの、コロナ前比較においては、景況感は悪化したものの、売上動向、採算動向は回復した状況です。他方では、原材料価格の高止まりやエネルギー価格の高騰が続くことによる「コストの負担増」や「人手不足」による受注機会の損失等の懸念材料が残っています。	47.3	42.5	89.9%	47.3		
【施策3】 ふるさと納税制度の推進	ふるさと納税制度による寄附額【億円】					<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと納税推進事業 	【重点化】 ●ふるさと納税推進事業 事業者訪問や説明会を通して、返礼品提供事業者との相談機会を増加させ、以下の取組を行い、ポータルサイト上での魅力向上を図ります。 ・メディア等で取り上げられた地場産品や事業者への開拓を含め、10月までに既存返礼品を1,000品目から1,400品目へ拡充します。 ・寄附単価の向上を図るため、魅力のある高額返礼品（定期便等）を増加させます。 ・させぼ産品振興事業との連携により返礼品情報の発信力の強化と事業者の返礼品提供の機運の醸成に取り組めます。 【再編・再構築】 ●ふるさと納税推進事業 他都市状況の把握、返礼品提供事業者の意見、民間ポータルサイト運営事業者との情報交換を踏まえながら、カタログ制作及び活用も含めた寄附募集及びPR方法を検討します。（募集効果が小さいポータルサイトの休止を含めて検討します。）
	KPI達成状況の分析						
	●国内での全体寄附額は、前年度から増加しており、本市においても、新たな返礼品の造成に取り組んだことにより、寄附額は前年度から増加し、寄付件数についても前年度から引き続き最高件数を更新するなど、KPIはおおむね達成できました。	25.0	23.5	94.0%	25.0		

【しごと】観光商工政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値	目指す方向	
人や財が流入・交流する活力ある産業のまち	市内総生産 (第2次・第3次産業)		将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を目的としています。
	737,540百万円 (H28)	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 (%)	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【施策4】 競輪事業収益の確保	競輪事業の事業収益額【千円】					●競輪事業	【重点化】 ●競輪事業 車券売上と事業収益の確保、向上を図るためにも、施設改修後を見据えたグレードレース（GⅠ、GⅡ）の誘致を積極的に行います。 改修期間中も本場開催を継続することから、通常開催以外の枠外開催（企画レースやミッドナイト）に積極的に応募し、車券売上と事業収益の向上を図ります。 老朽化したメインスタンドの建て替え及びメインスタンド周辺施設の新スタンドへの機能集約を行い、安全な施設への更新を図ります。
	518,000	942,882	182.0%	518,000	416,000		
	KPI達成状況の分析						
	●コロナ禍におけるインターネット投票の普及・拡大による車券売上が依然として好調であったこと、また、令和4年度は全プロ記念競輪（車券売上約30億円）を開催できたこともあり、車券売上が見込みよりも増加しました。 （令和4年度車券売上見込み258.5億円 → 実績 259.8億円） ●車券売上に伴い、事業収益も増加しました。 （令和4年度事業収益：令和4年度目標5.18億円 → 実績 9.43億円）						

【しごと】農林水産政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
魅力ある「産品」と元気な農林水産業のまち	市内総生産（第1次産業）		地域の特色を生かした「産品」と、元気な「担い手」の育成による、農林水産業の活性化を目的としています。
	14,734百万円 （H28）	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （％）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【 施策 1 】 農林業の振興	新規就農者数【人】					●農業担い手育成事業 ●農業経営の安定強化事業	【重点化】 ●農業担い手育成事業 令和3年度より、就農のきっかけ作りとして、本市独自の研修制度の実施と初期費用などへ支援（兼業も可としている）を開始しました。事業開始から3年を経過するため、効果の検証を行い、当該事業の継続・見直しの検討を行っていきます。 ●農業参加企業等支援事業 令和5年度より、企業等の農業分野への参加を促すため、本市へ農業参加する企業に対し、農業に従事する従業員の雇用に係る経費や農地の賃借料に係る経費に対する支援を開始しました。県内初の農業参加企業への支援制度として開始しており、次年度以降も社会情勢や地域の状況に応じて、支援内容の見直し・拡充について検討を行ってまいります。 【再編・再構築】 ●農業経営の安定強化事業 類似する細々目（中事業）への統合・再編について検討します。
	11	18	163.6%	11	11		
	KPI達成状況の分析						
	●認定農業者をはじめとする農業後継者のスムーズな経営継承や共同経営を促す相談・経営改善計画の作成支援、長崎県新規就農相談センターや関係機関との連携した新規参加への就農相談から着実に新規就農につなげることができたことから、KPIの目標値を達成できました。新規就農者の主な経営品目としては、佐世保市における主要産品への就農が多くみられました。						
	認定農業者1人あたりの生産額【万円】					●有害鳥獣対策事業 ●地域農産物の消費拡大促進事業 ●付加価値の高い一次産品育成対策事業 ●家畜保健衛生対策事業 ●食肉市場管理運営事業	【重点化】 ●家畜導入促進事業 させぼ生まれさせぼ育ちをはじめ、良質な牛肉生産につながる家畜の導入を強化し、生産基盤の強化及び付加価値向上を図ります。 ●スマート化・高品質化支援事業 「佐世保市DX戦略」に位置付けられた事業であり、近年開発が進むスマート農業技術の導入を加速しつつ、農畜産物の高品質化と並行しながら、本市農畜産物の収益性の向上を図ります。 ●有害鳥獣対策事業 有害鳥獣捕獲対策の再構築として、ICT活用機器の実装及び研究を行います。また、ジビエの活用に向け長崎国際大学と商品開発等の共同研究を行います。 ●青果・花き市場管理運営事業／食肉市場管理運営事業 今後の市場のあり方について、関係業者と意見交換を開始します。特に、令和7年に法定耐用年数を迎える花き市場を主として進めていきます。また、保全計画に基づき市場の環境整備に努めます。 【再編・再構築】 ●ふれあい農業推進事業 継続した所管施設のあり方を検討します。 ●体験農業推進事業 令和5年度末をもって市民農園を廃止します。
	2,215	2,150	97.1%	2,215	2,257		
	KPI達成状況の分析						
	●令和4年度実績値においては、担い手への農地の集積、生産基盤の整備による効率化等により、概ね目標値を達成することができました。引き続き、担い手への農地の集積、生産基盤の整備による効率化等とあわせ、新規就農者や農業法人など新たな担い手の生産規模拡大を推進していく必要があります。						

【しごと】農林水産政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
魅力ある「産品」と元気な農林水産業のまち	市内総生産（第1次産業）		地域の特色を生かした「産品」と、元気な「担い手」の育成による、農林水産業の活性化を目的としています。
	14,734百万円 （H28）	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （％）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【 施策 1 】 農林業の振興	農山村の持つ地域資源の維持・継承面積【ha】					<ul style="list-style-type: none"> ●ため池整備事業 ●土地基盤整備事業 ●林道改良事業 	【 重点化 】 <ul style="list-style-type: none"> ●ため池整備事業 令和4年度から6年度にかけて、防災重点農業用ため池の劣化状況評価を行い、県が行う地震耐性評価・豪雨耐性評価の結果と合わせ、要改修と判断されたため池について、令和12年度までに、「防災工事または廃止工事」を重点的、計画的に推進する予定です。 ●市営農業用施設管理事業 江上地区における集中豪雨時の農地及び周辺道路の冠水対策については、令和5年度に農林水産省の補助金制度を活用した既存施設の「機能診断及び保全計画の策定」と排水機場内と早岐瀬戸での水位観測を行うこととしています。それらの調査結果から6年度には「内水解析」により排水能力を決定し7年度からの排水施設更新への事業化に着手する予定です。 ●森林総合整備事業 未整備の私有林における森林整備を実施するため、R3年度から「林地台帳」の整備や森林所有者へ「森林整備に関する意向調査」を実施しております。今後、令和18年度までに意向調査と並行して、森林整備の計画を策定後、間伐等を実施することで森林管理の適正化を促進し、森林の有する多面的機能の発揮によるカーボンニュートラルの実現に向けての取り組みを推進します。また、新たにバイオマス（林地の未利用間伐材等の再生可能エネルギー）を活用した事業を検討します。 ●地方創生道整備推進交付金事業 「林業就業者の維持・増加」、「木材搬出量の増加」、「烏帽子岳周辺施設の利用者数の増加」を目的として、木材生産及び流通基盤の強化による地域資源の維持・継承を目標に、林道と市道の一体整備を実施しております。 令和4年度の時点では整備段階であったため、引き続き計画に則した事業促進を図るとともに、目標達成に向けた新たなソフト対策の追加を検討します。 【 再編・再構築 】 <ul style="list-style-type: none"> ●基盤整備施設維持管理事業（農道）及び林道改良事業（林道） 農林道の橋梁とトンネルの個別施設計画の精度を向上させるため、定期的な点検・診断等及び維持管理・修繕等を予防的に行い、健全度に基づく適正な更新計画・維持管理を推進していきます。
	1,531	1,284	83.9%	1,531	1,531		
	KPI達成状況の分析						
	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度においては、取組組織が減少したことにより、取組面積が減少しています。今後は取組組織の高齢化等により取組面積の減少が想定されるため、大きく減少とならないよう、制度を推進していく必要があります。 						

【しごと】農林水産政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
魅力ある「産品」と元気な農林水産業のまち	市内総生産（第1次産業）		地域の特色を生かした「産品」と、元気な「担い手」の育成による、農林水産業の活性化を目的としています。
	14,734百万円 （H28）	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （％）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【施策2】 水産業の振興	新規就業者数【人】					●漁業経営の安定強化事業 ●意欲ある担い手の育成・支援事業	【重点化】 ●漁業担い手等育成支援事業 県、漁協等と連携し、新規の就業相談から就業前後の技術習得研修支援など、段階に応じた切れ目ない対策による新規就業者の確保とともに、個別の経営指導・支援等による漁業者の離職防止に努めています。
	12	44	366.7%	12	12		
	KPI達成状況の分析						
	●新規就業者数は目標を大きく上回り44人となっています。雇用型のまき網漁業を中心に新規就業者が増加したことが、KPIの達成に寄与したと考えられます。今後も継続して目標を達成できるよう、市内外からの就業者確保に努めていきます。						
	漁業者1人あたりの漁獲高【万円】					●水産市場管理運営事業 ●栽培漁業の推進と養殖業の育成事業 ●漁場環境の保全対策事業 ●漁業関連施設の充実事業	【重点化】 ●養殖業育成事業 陸上養殖を推進するために、漁業者や関連団体等で陸上養殖協議会を設立し、実施にあたっての課題抽出や養殖技術・施設情報などを検討・共有化し、陸上養殖の開設を目指します。 ●種苗生産事業 陸上養殖適種（カワハギ・アカハタ）の生産を確立します。併せて、陸上養殖を推進するために、養殖試験（クエ等）を引き続き実施し、陸上養殖のデータ蓄積（成長、収支等）を行い、導入希望者に情報提供してまいります。 【再編・再構築】 ●水産センター等管理運営事業 宇久栽培センターについて、人材不足の問題や安定した種苗（アワビ）生産を行うためには新たに設備投資が必要となるなど、これまでの方法では種苗の供給を安定的に図ることが困難となってきたことから施設を廃止とします。 ●種苗生産事業 生産魚種の見直し検討を実施し、種苗生産の効率化を図ります。水産センターの生産及び施設管理などにおいても、新たなIoT、ICT技術導入を検討します（夜間給餌による成長促進）。
	1,253	1,179	94.1%	1,253	1,296		
	KPI達成状況の分析						
	●新目標値が達成できなかった大きな理由として、新型コロナウイルスの影響の長期化で、全体的な取り扱い価格の下落が継続し、また、燃油価格の高騰により出漁しても燃料費等の必要経費を漁獲物でまかなうことができないケースなどあることから、出漁自体をみあわせる漁業者が多いたものと考えられます。 依然、同様の影響が継続しており、目標の達成は難しいと予想されますが、引き続き同取組みを継続し、長期的に目標達成を図りたいと考えています。						

【しごと】企業立地政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 （※H30）	目指す方向	
雇用を生み出す魅力と活力のあるまち	就職率		製造業及びオフィス系企業など魅力ある雇用を生み出す企業立地を実現させ、市外への人口（特に若年層）流出抑制及びU J Iターンによる流入増加を図ることを目的としています。
	45.6%	→	

施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性
	R4目標値	R4実績値	R4達成度 （%）	参 考			
				R4目標値	R5目標値		
【 施策 1 】 企業立地の推進	立地企業の新規雇用計画人数（平成18年度からの累積）【人】					●企業立地推進事業 ●工業団地整備事業	【重点化】 ●企業誘致活動事業 県や産業振興財団と連携しながら、企業立地奨励事業の奨励制度を効果的に活用し、様々な手段を講じて、誘致活動に取り組んでいきます。具体的には、「電子デバイス関連」、「二次電池関連」、「新素材関連」、「自動車関連」、「医薬品・衛生用品関連」の重点5分野を中心とし、それ以外の業種・企業に対しても時勢に応じた誘致活動を行い、「佐世保相浦工業団地」への立地実現に向け注力するとともに、設計開発を含むオフィス系企業への誘致にも取り組みます。また、IR関連及び水産加工団地分譲についても関係部局と連携を図ります。 ●企業立地奨励事業 企業立地推進事業を下支えする事業であり、本市への立地及び増設する企業に対して、雇用や投資の規模に応じ、奨励金制度を活用し、観光商工部と連携し支援していきます。 【再編・再構築】 ●立地企業支援事業 企業誘致活動事業内で実施していた立地企業に対する採用支援などのアフターフォローを強化するため、「立地企業支援事業」として独立した事業に再編し、企業の更なる投資と雇用の創出を図ります。
	3,550	3,986	112.3%	3,550	3,600		
	KPI達成状況の分析						
	●従前からの誘致活動や採用支援などのアフターフォローが着実に実を結び、KPI達成に繋がったと分析しています。						